



やまびこ  
2026

2

1/25 高等学校第49回卒業式



2025年度学校目標：「Be a Pleasing Aroma of Christ：良きキリストの香りとして」

## 「今、あらためて考える三育教育：卒業生の姿と、学びのその先」・・・

1 月25日、第49回の高校卒業式を無事に終えることができました。卒業生33名は、卒業記念品として、本部棟玄関に掲げる教育理念と学校のスクールポリシー（アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）が記されたパネルを寄贈してくれました。そのディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）には、「聖書を土台としてキリスト教的価値観を理解し、神様と人のために生きること献身する生徒を認定する」と記されています。卒業プログラム初日の安息日夜に行われた献身会では、卒業生一人ひとりが将来に向けた思いを語り、多くの者が「人の役に立ちたい」「社会の必要に応える存在になりたい」と述べていました。その姿は、本校が大切にしてきた三育教育（アドベンチスト教育）の実りを感じさせるものでした。

三育教育（アドベンチスト教育）は、テストの点数や進学実績だけを目的とする教育ではありません。聖書を土台とし、霊性・知性・身体性の調和的な成長を通して、神様との関係の中で生き、他者に仕える人を育てることを目指しています。価値観が多様化し、正解が見えにくい時代だからこそ、神様の愛と正義を基準に、「何が正しいのか」「どのように生きるべきか」を考え続ける力が大切だと感じています。

最近、アンドリュース大学准教授ソン・K・クォン先生の論文の記事「社会変革モデルを通じて、教室を超えた集団的影響力を創出する」（英文：Journal of Adventist Education Volume 86, Number 3, 2024、和訳：牧羊 2025年2号より）を読み、教育の在り方について改めて考えさせられました。クォン先生は、学びを教室の中だけにとどめるのではなく、地域社会の課題に目を向け、奉仕や体験的な学びを通して、生徒たちが仲間と共に行動し、良い影響を生み出していくことの大切さを示しています。そこでは、一人ひとりの内面の成長が、協力や対話を通して共同体のカへと広がっていく姿が描かれています。

一方で、こうした社会との関わりが、単なる活動や経験で終わらないためには、教育の目的を見失わないことが重要です。その点について、アンドリュース大学神学院名誉教授ジョージ・R・ナイト先生の『永遠に至る教育：三育の教育哲学』（福音社）は、大切な視点を与えてくれます。三育教育（アドベンチスト教育）は、この世での成功だけを目指すものではなく、イエス様の再臨の希望に根ざし、永遠を見据えた人格形成を中心に据えています。社会への奉仕や責任ある行動は、その信仰の実りとして自然に生まれてくるものなのです。

今、私たちに求められている三育教育（アドベンチスト教育）とは、永遠の希望にしっかりと根ざしながら、現実の社会に誠実に関わっていく教育であると考えます。キャンパス内で行なっているキリスト教教育、労作教育、そして寮教育の経験を生かし、学びと奉仕、信仰と行動を結びつけていくことが大切です。学校ではさまざまな教育活動を行っていますが、その具体的な実践の一つが、現在取り組んでいるソアン・プロジェクト教育です。これは、三育教育の理念を、日々の生活と学びの中で具体的に形にしていく取り組みであると言えるでしょう。

生徒たちが卒業後、このキャンパスで学び、体験したことを生かし、生活する地域や通う教会を支えてくれることを願っています。卒業生一人ひとりの歩みを思うと、社会や教会の将来に大きな希望を感じます。今後とも、広島三育学院三原市キャンパスの教育活動のために、お祈りとご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

**高** ヒョウモンモドキ保護の会主催の活動報告  
&交流会 1/19

今回、このようにして、短い時間ではありましたが、ヒョウモンモドキ保護の会の皆様や地域の方々との深い交わりができて有意義な時間を過ごすことができました。当日はソアソ活動のことをうまくプレゼンできるのか不安もありましたが、集まってくださった方が温かい雰囲気の中で歓迎してくださったおかげで緊張がほぐれ、私たちの伝えたい活動内容を共有することができ、交流を楽しむことができました。また、私たちの同年代である世羅高校のみなさんも参加していて、活動の熱意を感じ、見習うことや学びも多かったです。今回の学びや交流をこれからも続け、来年も地域を力づける活動をしていきたいと強く感じています。(高校1年 福井 康記)



**高** 高校第49回卒業式 1/25

私たちの3年間の活動がここまで守られたことを、周りで支えてくれた皆さん、そして神様に感謝します。私が制服を着てこの場に立つのは、3年前の新入生代表挨拶以来です。緊張で体をこわばらせながら、自分で書いた文字を機械的に読んでいたことを鮮明に覚えています。

猪年生まれが大半を占めるだけあって、なんでもすぐ自分たちでやってしまう猪突猛進な私達でしたが、その信号係になって下さったのは、周りの先生たちでした。先生たちとの交わりには、様々な学びと思い出と感謝が詰まっています。ありがとうございました。

保護者の皆さん、今まで本当にありがとう。三育という素敵な学び舎に私達を送り出してくれて、離れていても常に私達のことを気にかけて、見守ってくれて、ありがとう。これからは、私達が皆さんを支える番です。掃除でも洗濯でもおつかいで、なんでも頼ってください。でも、私達の成長はまだまだ止まらない予定なので、引き続き経過観察をお願いします。

**行事報告**

後輩のみんな、今までありがとう。入学した時から物怖じせず肝が据わっていた一年生のみんなと、イベント事にしても部活にしても私達にぴったりくっついてサポートしてくれた二年生のみんながいたからこそ、今年度の学校を華やかで色濃いものにできたと思っています。これからの三学期はみんなにとって、新しい年度に向けての大事な準備期間になります。たくましいみんなならなんでもできると信じています。三育でできることを存分に楽しみながら、頑張ってね。

大好きな同級生のみんな、何から話せばいいかわからないくらい、沢山伝えたいことがあります。普段はふざけたり眠そうにしていたりすることの方が多いけど、授業や自習で机と真面目に向き合ったり、汗水垂らして部活に全力で励んだり、いざという時に明るく周りを盛り上げたりするみんなの姿は、本当にかっこいいです。みんなの頑張る姿が、私の頑張りの原動力になっていました。ありがとう。もうここでみんなと今までのような生活を共にすることはできないけれど、離れていても、同じ空の下で過ごす、三育で出会った一生の友として、これからもよろしくね。

最後に神様、私達の三年間を最初から最後まで導いてくださり、本当にありがとうございました。私達は、これからそれぞれの道をそれぞれの歩み方で進んでいきます。きっと今まで以上に沢山の試練、挑戦、出会い、挫折を経験するでしょう。しかし、あなたと一緒に歩むことで、どんなことも乗り越え、人生の糧とすることができますように。そして、やがて天国でここにいるみんなと笑って再び会うことができますように。

明日から、私達はそれぞれの場所で目を覚まし、一日をスタートします。今まで周りから受けてきた沢山の愛や、ここで培ってきた奉仕の精神を最大限に活かして、今度は私が周りに神様の愛を伝えていきます。最後に、私たちのAIMを読んで、感謝の言葉とさせていただきます。「わたしたちは自らの道を探し求めて 主に立ち帰ろう。」哀歌3章40節 (卒業生代表 前田光希)



**Schedule for the Activities**

**中学校**

**高等学校**

8日(日)~14日(土)	卒業祈禱週	2月	9日(月)~13日(金)	2年修養会
			10日(火)~12日(木)	1年SAP
			15日(日)	大学入試共通テスト対策模試(希望者)
18日(水)	休日		18日(水)	休日
21日(土)	ハンドベル・プラスバンド バイバイコンサート	3月		
1日(日)	第3回英検2次試験		1日(日)	第3回英検2次試験
			2日(月)~5日(木)	定期考査V
4日(水)	寮お別れ会			
5日(木)	教師お別れ会			
6日(金)	卒業式練習、献身会			
7日(土)	卒業礼拝、卒業ハイライト			
8日(日)	第49回卒業式			
9日(月)	部屋替え		9日(月)	返却授業、HRパーティー
10日(火)	特別作業、表彰式		10日(火)	返却授業、特別配置労働、表彰式
11日(水)	終業式、帰省	11日(水)	終業式、帰省	
11日(水)~24日(火)	中高フィリピン研修			